

令和7年7月31日

特別支援教育が目指すもの


ー特別支援教育のさらなる充実を目指してー

那珂市教育支援センター 村上 満江

1

本日の内容

1. インクルーシブ教育について考える
2. 困っている子への理解と支援
3. 校内特別支援教育体制のさらなる充実に向けて
4. 終わりに



3


インクルージョン教育からインクルーシブ教育へ ー医療モデルから社会モデルへの転換ー

医療モデル ↓ 障害は治療や訓練の対象 ↓ 診断があって初めて支援が始まる	社会モデル ↓ 社会や環境が作り出す障害 ↓ 「困りごと」(ニーズ)がある時点で支援が始まる
--	---

5

2 困っている子への理解と支援

困っている子どもの特徴《5点セット+1》



- ①認知機能の弱さ
- ②感情統制の弱さ
- ③融通の利かなさ
- ④不適切な自己評価
- ⑤対人スキルの乏しさ


+ 身体的不器用さ

「目5分」教室で使えるコグトレ 困っている子どもを支援する認知トレーニング 122 吉口幸治 東洋館出版社 2024

14

3 校内支援体制のさらなる充実に向けて

【演習：ワールドカフェ】



【ルール】

1. 参加者との対話を楽しむ
2. 発信している人の意見をきちんと聞く
3. 質問して対話を広げる
4. 他人の意見を否定しないで受け入れる
5. テーマを意識する

29

3 校内支援体制のさらなる充実に向けて

【演習：ワールドカフェ】

テーマ

- 1 自校の校内支援体制をさらに充実させるために、必要なことは何か。
- 2 そのために何ができそうか。

27

○感想一覧

- ・「どこの先生も大変だな」と感じ、安心した。フルインクルーシブに日本もなっていけるよう、子ども達を引き続き支援していきたいと思った。
- ・子どもの困難さを把握し、子どもに合う支援をしていくことが大切だと、改めて感じた。人手がなかなか確保できないこともあるが、自分が子ども達のためにできることをしていききたいと思う。
- ・通常学級の先生方にも聞いていただきたい内容だった。本校には、支援学級がないので気持ちは特別支援学級担任のつもりで子ども達を支援していきたいと思った。
- ・インクルーシブ教育は、難しいところもあるけど、やはり「目指す」ことが大切だと思った。ワールドカフェもみなさんと同じような気持ちで時間があっという間だった。目の前の子どもが我が子だったらという視点を忘れずに、日々子ども達と向き合っていきたい。
- ・他校の先生方の話をする中で、同じ考えや悩みをもっていることに安心した。今日学んだことを2学期に少しでも生かせればと思う。
- ・みなさんとのワールドカフェの中で、悩みが一緒なことが分かり、頑張ろうという気持ちが沸いてきた。自分だけで抱えないで、悩みや大変さを伝えていかなければならないと改めて感じた。
- ・特別支援教育の背景について、改めて知ることができた。「ニーズ」に合わせた支援と医療モデルとのバランスが難しいと思った。校内で情報を発信し連絡協力して、よりよい支援をしていきたいと思った。
- ・インクルーシブ教育について理解を深めることができた。普段、なかなか会うことのできない他校の支援学級の先生方と情報交換することができ、とても参考になった。